

議会だより

太子

だいで

No.194

平成30年8月6日発行

茨城県
太子町議会

目次

- 議会活動報告 2～3
- 平成30年第2回定例会... 4～5
- 第3回臨時会 6
- 行政報告 7
- 一般質問目次 8
- 「わくわくわたしの夢」...18

○「シリーズ太子の風景⑨ はじける麗華 ～奥久慈太子フォトコンテスト作品から～」○

報告

実施しています)

します!



総務委員会自主研修

◆公衆無線LANについて

6月20日総務委員会において町内の公衆無線LAN整備状況と今後の対応について研修を行った。

公衆無線LANの整備は、スマートフォン等の普及とともに大子町を訪れる観光客にとって、

ポイントを設置することによってランニングコストもかかることから費用対効果を考えたり、あるいは民間による設置など、状況を見極めこれからの情報化社会に対応していく必要があると思われる。

手軽な情報入手の手段としてますます必要なものになっている。大子町でも袋田の滝事務所や道の駅、オートキャンプ場、森林の温泉、茶の里公園など主な施設には設置されているが、通信エリアが非常に狭く限定的な利用に限られている。



担当課から説明を受ける

産業建設委員会

◆前冥賀地区の太陽光発電施設造成地を視察

6月27日、前冥賀地区

における太陽光発電施設建設のための造成地の視察を行った。造成は、県の太陽光発電施設に関するガイドラインに基づき、事業者から「事業概要書」が提出されたが、町の意見書に基づく協議をしないまま一方的に造成が進められた経過がある。視察では、町道、里道、水路、農地の埋没、町の指導後の土砂の流失防止、排水対策、町道、里道復元の担当課から説明と状況の確認が行われた。参加した議員からは、「雨水桝が小さく大雨の際、決壊し土砂の流失をまねく。造成はほぼ完了しているが、関係法令、規則を無視した行為は許されない。やり得は許しがたい。」などの視察の感想が寄せられた。



太陽光発電施設造成地を視察



担当課から説明を受ける



議員の仕事

(定例会のほか、常任委員会や調査活動を

文教厚生委員会

文教厚生委員会は、主に教育、福祉、環境、衛生に係る事案の調査、研究審査などを行っています。

今年度は、5月末から町立の幼稚園、各小・中学校を訪問して、現状や問題点などを調査しました。学校などでは、耐震診断や耐震補強工事関係は済みましたが、特別教室のエアコンの未設置、施設の老朽化による破損箇所の未整備等の問題や学校統合を控えて



袋田小

の経営計画などたくさんさんの要望がありました。今後、これらを審査し、町、教育委員会、学校関係者等と協議のうえ、改善案などを提言して、子どもたちが、より良い学校生活を送れるよう、一緒に考えていきます。

また、秋には、福祉関係の施設や事業所を訪問し、入所者やそこで働く人たちのより良い環境づくりなどを支援していきます。



だいで小

林活議連で総会を開催

大子町議会では、「大子町森林・林業・林産業活性化促進議員連盟（通称・林活議連）を結成している。

主な活動は、研修会・講演会等の実施、諸般の実態調査及び現地調査の実施、関係機関・団体との交流及び協力提携など

○平成30年度役員

会長 岡田敏克
副会長 須藤 明
監 事 鈴木陸郎
事務局長 菊池富也

で、森林保全・林業の活性化に向けた議員活動を行っている。去る5月に総会が開催され、左記役員が選出された。



林活議連総会の様子

平成30年 第2回定例会

一般会計 補正予算が否決

平成30年第2回定例会が、6月6日から14日までの9日間の会期で開催され、平成30年度大子町介護保険特別会計補正予算など町長から提出された議案8件、報告3件を審議し、また、議員提出議案として議員の派遣および常陸大宮保健所の存続を求める意見書が提案され、原案どおり可決されました。しかし、平成30年度一般会計補正予算については、賛否同数のため議長裁決により否決となりました。また、人権擁護委員には、永瀬道子氏が適任とされ、法務大臣への推薦に同意しました。

一般質問では、8人の議員が登壇し、町政全般についての質問が展開されました。

第2回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
報告第1号	平成29年度大子町一般会計予算繰越明許費繰越計算書の報告について	報告済
報告第2号	平成29年度大子町一般会計予算事故繰越し繰越計算書の報告について	報告済
報告第3号	大子町国民保護計画の変更の報告について	報告済
議案第54号	大子町人事行政の運営等の状況の公表に関する条例	原案可決
議案第55号	大子町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第56号	大子町税条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第57号	大子町立小、中学校及び幼稚園設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第58号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案適任

議案第59号	平成 30 年度一般会計補正予算（第 2 号）	原案否決
議案第60号	平成 30 年度介護保険特別会計補正予算（第 1 号）	原案可決
選挙第 3 号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員補欠選挙	当選
議員提出議案 第 3 号	議員の派遣について	原案可決
議員提出議案 第 4 号	常陸大宮保健所の存続を求める意見書	原案可決
議案第61号	し尿収集車の取得について	原案可決
議案第62号	訴えの提起について	原案可決

議案の賛否状況

採決に当たり、意見が分かれた議案の賛否状況をお知らせします。

議案 番号	議 案 名	賛否数		議 員 名														
		賛 成	反 対	菊池 富也	須藤 明	藤田 英夫	菊池 靖一	櫻岡 義信	中郡 一彦	岡田 敏克	大森 勝夫	金澤 真人	齋藤 忠一	佐藤 正弘	鈴木 陸郎	藤田 稔	野内 健一	吉成 好信
59号	平成 30 年度大子町一般会 計補正予算（第 2 号）	7	7	○	○	○	×	○	○	×	－	○	○	×	×	×	×	×

※○＝賛成， ×＝反対， -＝議長（大森勝夫議員）は採決に加わりません。

※議案第 59 号は議長裁決。

◇特別会計補正予算

平成 30 年度大子町介護保険特別会計補正予算（第 1 号）の補正額は、312 万 5 千円の増額で、補正後の予算の総額は、歳入歳出それぞれ 26 億 8,637 万 7 千円となります。

◇茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員に大森勝夫議長が当選

欠員となっていた茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙が今定例会で行われ、指名推薦により大森勝夫議長が当選されました。

平成30年 第3回臨時会

平成30年第3回臨時会が7月3日に開かれ、平成30年度一般会計補正予算（第3号）について審議しました。第2回定例会にて否決となった平成30年度一般会計補正予算（第2号）から、奥久慈観光やなにに係る土地・建物の取得費を除いた予算であり、その提出議案1件について全会一致で可決されました。

第3回臨時会 提出議案等と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第63号	平成 30 年度一般会計補正予算（第 3 号）	原案可決



一般会計予算の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	415 万 8 千円
県支出金	2,430 万円
繰越金	3,464 万 1 千円
諸収入	290 万円

歳 出	補 正 額
アートを活かしたまちづくり事業費	520 万円
コミュニティ助成事業補助金	250 万円
放課後児童クラブ事業委託料	421 万 8 千円
融資主体補助型経営体育成事業補助金	751 万 1 千円
畜産競争力強化対策整備事業費補助金	711 万 5 千円
観光振興事業委託料	944 万 5 千円
大子町地域の祭り文化支援事業補助金	512 万 4 千円

行政報告

出資団体の事業報告について、一般財団法人大子町振興公社、奥久慈だいが築漁業組合、大子おやき学校に関する事業実績の報告が行われました。

◇一般財団法人大子町振興公社

平成29年度各施設の利用者数は92万8541人で前年度より2万7343人の増となりました。

全体の経常収益は5億4930万9139円であり、これに対する経常費用は5億5727万2908円で、796万3769円の赤字決算となりました。赤字決算の主な理由は、重油や灯油など光熱費の値上がりによるものです。

◇奥久慈だいが築漁業組合

入客者数は1万2169人で前年より2097人の減となりました。約15%の減となりましたが、経

費削減の理由により、収益が多く見込める日に絞った営業に変更したことによる営業日の減少に伴うものです。売上高は2029万5470円で、前年比148万580円の減となりましたが、収支については115万8734円の黒字決算となっております。

◇大子おやき学校

売上高は1947万9791円で、前年度と比べ28万7883円の増となり、収支についても、13万4748円の黒字決算となりました。

おやきの販売数量については、学校給食の5万6000個を含めた15万925個を販売し、前年度と比べ1万5135個の増となりました。増加した理由は、学校給食への販売数量が1万6590個増加したことによるものです。

出資団体決算状況

(一般財団法人 大子町振興公社)

		経常収益	経常費用	経常損益	利用者数
法人会計		16,595 円	390,032 円	△ 373,437 円	
受託施設部門	大子温泉保養センター「森林の温泉」	93,771,869 円	101,056,048 円	△ 7,284,179 円	85,160 人
	大子町観光物産館「道の駅 奥久慈だいが」	136,495,548 円	134,239,545 円	2,256,003 円	148,502 人
	八溝山展望台	1,228,300 円	1,228,300 円	0 円	
	袋田観瀑施設	53,290,792 円	53,290,792 円	0 円	551,510 人
	東京理科大学大子研修センター	23,162,186 円	23,162,186 円	0 円	
	計	307,948,695 円	312,976,871 円	△ 5,028,176 円	
広域公園部門	多目的温泉プール フォレスパ大子	105,944,476 円	109,813,180 円	△ 3,868,704 円	フォレスパ大子 61,324 人
	多目的オートキャンプ場 グリンヴィラ	100,265,373 円	98,958,825 円	1,306,548 円	オートキャンプ場 39,671 人
	大子広域公園	35,134,000 円	35,134,000 円	0 円	
	計	241,343,849 円	243,906,005 円	△ 2,562,156 円	
合 計		549,309,139 円	557,272,908 円	△ 7,963,769 円	

	経常収益	経常費用	経常損益	入客者数
奥久慈だいが築漁業組合	14,914,702 円	13,755,968 円	1,158,734 円	12,169 人

	経常収益	経常費用	経常損益	おやき作り体験者
大子おやき学校	17,859,206 円	17,724,458 円	134,748 円	7,116 人

平成30年第2回定例会

町政に

ここが聞きたい！これを言いたい！

8人の議員が一般質問！！

質
問
席

質 問 内 容	ページ	質 問 者
ドライブレコーダーの設置状況は	P. 9	藤田 稔 議員
児童・生徒の常時見守り体制の状況は		
孤独死防止にネットワークづくりを	P. 10	岡田敏克 議員
町長選挙に出馬をするのか伺う		
災害発生時にドローン活用を	P. 11	櫻岡義信 議員
常陸大宮保健所の統合は	P. 12	佐藤正弘 議員
前冥賀地区の太陽光発電施設は		
公有財産の取得について		
区長等の報酬の引き上げは	P. 13	菊池富也 議員
だいて味らんの振興策を		
今冬の町長選挙における主な公約は		
八溝山の展望図と周辺整備は	P. 14	吉成好信 議員
ふるさと住民票を発行してはどうか		
住みたい田舎づくりは		
期待することをモデル化しては	P. 15	菊池靖一 議員
やな再興プロジェクトの早期実施を		
町内の医療機関とのつながりは	P. 16	野内健一 議員
町民の健康寿命延伸を可能にする施策は		

インターネットで映像配信中

定例会及び臨時会をインターネットで生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見るができますので、大子町議会の様子をぜひ映像でご覧ください。

(※議員の顔写真わきにあるQRコードを読み取ることにより、議員の一般質問へアクセスします)



ホームページから 議会中継へクリック



スマートフォンから





ドライブレコーダーの設置状況は

【答】年次計画により全車両に設置



藤田 稔 議員

児童・生徒の常時見守り体制の状況は

【藤田】 児童・生徒の登下校を常時見守ることは大切である。各地域においての見守り体制の把握はされているのか伺う。

【藤田】 安全運転意識の向上や運転をめぐるトラブル、犯罪の抑止に役立つドライブレコーダーがある。救急車両や公用車等への設置に対する考えを伺う。

【総務課長】 昨年度、公用バスと救急車両各1台に初めて設置した。今後、年次計画により、公用車全車両に設置する方向で進める。

録画中

【教育委員会事務局長】 不審者や災害時の対応のため500カ所に子どもを守る110番の家を設置している。また、学校職員の登下校の指導、交通安全母の会、駐在所、スクールサポート、防犯協会、地域の方々、保護者等の協力で登下校の安全確保につながっている。

【藤田】 児童・生徒の通学路の整備状況はどうか。

【教育委員会事務局長】 大

子町通学路交通安全対策推進会議において、各学校より提出された危険箇所との状況把握、改修を行っている。

【藤田】 地域住民や観光客等への安全・安心を確保し、特に子どもたちを犯罪から守るために防犯カメラの設置は必要である。町の設置状況を伺う。

【生活環境課長】 平成28年に大子警察署長から各小・中学校周辺への設置要望があった。3年計画で設置していく。また、役場敷地内への設置も進めている。

【藤田】 町内には、避難所18カ所、避難場所115カ所ある。土砂災害の発生や浸水が想定される所がある。見直しはされてきているのか。

【総務課長】 避難場所等は地区集会所がほとんどであ

り、代替え施設が課題である。自主防災組織と協議をして見直しを進めたい。

【藤田】 避難所の備蓄についての考えを伺う。

【町長】 旅館、ホテルとの協定を結んでいるので、災害時の備蓄品は中心に置く方が効率的と考えている。

【藤田】 避難所には水の確保は大切である。災害時の生活用水、飲料水を確保するため町では、災害時に使用する井戸水を調査した。地区合計で671カ所のうち30カ所の水質検査をする。場所の設定や停電時の対応はどうか伺う。

【総務課長】 自主防災組織ごとに利用しやすい候補地の選定をし、所有者の承諾を得て水質検査を行い、生活用水と飲料水に区分する。看板、プレート等を設置し広報紙、ホームページ上で公表し、

非常災害用井戸として登録していきたい。

停電時は、手こぎポンプの設置等自主防災組織と協議し検討していきたい。

【藤田】 町内には、小久慈に町の由来となった湧水等数多くある。これらの利用も考えられると思うが。

【総務課長】 有効な水資源は利用を考えていきたい。

【藤田】 災害対策における早急な課題はあるのか。

【総務課長】 一人暮らし高齢者などの避難行動要支援者への対応が課題である。



特殊公用車へのドライブレコーダーの設置を



孤独死防止にネットワークづくりを

【答】 ネットワークづくりを進めたい



岡田敏克 議員

【岡田】 町ではこれまでにあの手この手で高齢者の見守り活動に力を入れているにも関わらず、なぜこのような数字が出てくるのか大きな疑問を持つ。やり方が不備なのか、どこかで活動をしていないのか、人任せなのか。現在の活動状況でどこか抜けているのではないか。

【福祉課長】 民生・児童委員さんと連携を密にし支援が必要と思われる人が受けられるように考えている。

【岡田】 なぜ7人が孤独死で発見されているのか。今回まちづくり課で地域住民の見守りや生活支援、コミュニティづくりに取り組む団体に支援する補助金制度が創設された。私が言いたいのは、「仏作って魂入れず」のとおり、いくらい

んな新事業を作っても効果がなければ意味がない。行うにしても他の関係機関、団体と相談や打合せをしたのか。

【福祉課長】 現状では難しい。ボランティアもなかなか足りていない。関係課、民生・児童委員、社協などとも連携を進めたい。

【岡田】 バラバラにいくらやってもだめである。特に一番地域の状態を把握しているのは地域の区長である。高齢者の見守りについて某区長に聞いたところ、仕事が多すぎてできないとの返事。区長の下に連絡員や班長がいるので区長に協力を求めるべきである。協力してもらう必要がある。町民の命の問題である高齢者の見守りについては、区長会の協力を求めるべきで

あるが伺いたい。

【福祉課長】 高齢者の見守りについては、民生・児童委員さんを中心

にお願ひしているところであり、区長会全体に対してはお願ひしていない。地域から相談があった場合には必要に応じて区長はじめ近所の方にも支援をお願いしている。

【町長】 区長の主たる役割ではないが、必要に応じてお願ひしている。

【岡田】 見守り活動ネットワーク協議会たるものをつくり孤独死防止を

考えてほしい。

【福祉課長】 本町にネットワークづくりを進めたい。



郵便職員による高齢者見守り訪問

一般質問の内容は、質問者自ら要約執筆し、掲載しています。

町長選挙に出馬をするのか伺う

【岡田】 町長は今年の4月1日、依上、山田、上岡地区後援会席上で町長選出馬を表明している。公の場で町長選挙に出馬するのか。

【町長】 出馬をしたい。

その他の質問

○役場職員の人事異動について

【岡田】 少子・高齢化が進み地域住民の見守り、生活支援、コミュニティづくりなど多くの課題を抱えている。見守り活動の原点、特に高齢者に対しての目的は、孤立化、孤立の減少、孤立感をなくすことであり、孤独死の防止が最大の目的である。孤独死は町で平成28・29年度に何件あったのか伺う。

【福祉課長】 平成28年度は5件、平成29年度は7件発生している。



災害発生時にドローン活用を

【答】先端技術の活用を研究したい



櫻岡義信 議員

は、大雨による土砂災害である。GPSとカメラを搭載したドローンを飛ばし、いち早く災害現場の地図を作成、搭載したカメラでリアルタイムに映像を送り、対策本部に正確な位置や状況を伝える技術は既に存在している。災害時のドローンの活用について、町の考えを伺いたい。

【総務課長】消防庁では、全国のドローン事業者と災害時等における情報収集活動に関する協定を締結したと聞いている。県および水戸市、笠間市、常総市が、水戸市内のドローン操縦士養成スクールと同様の協定を締結したとも聞いている。町としても、先の導入市町村や事業者の状況を調査し今後検討する。

【町長】ドローンの活用だ

けでなく、AIやインターネットと機器を結び、遠隔操作できるIOTなど新しい技術が進んでいる中、町としても、先端技術の活用を研究したい。ドローン事業者との協定も締結に向け検討を進めていく。

【櫻岡】山での遭難者の捜索に、赤外線カメラなどを搭載したドローンを使って、企業などと連携し、捜索方法を確立することで、本町のみならず、遭難者が発生する他の地域でも迅速な救助に貢献できると考える。有害鳥獣対策にも有効であり、町民の安全・安心に結び付く。町としての考えを伺いたい。

【消防長】遭難者捜索や山火事等の確認に有効と考える。ただし、ドローン事業者との距離的な問題があ

り、初動対応は、職員派遣、県の防災ヘリ活用で対応したい。

【櫻岡】町の美しい景観をドローンで撮影し、その映像と操縦技術を競う競技会を開催してはいかがか。2年前の質問では、活用を希望する団体があれば、安全面を考慮の上、場所を提供

することに問題ないと回答しているがいかがか。

【まちづくり課長】ドローンを使ったイベントは、町の賑わいづくりに期待できる取り組みである。法規制や事故防止に知見のある企業等からの提案があれば、協力できると考える。



さまざまな活用が期待されるドローン



常陸大宮保健所の統合は

答 しつかり反対していく



佐藤正弘 議員

【佐藤】 大子町を管轄する常陸大宮保健所の窓口業務を残し、ひたひたなか保健所に統合する案が出されている。今後どのような取り組みを進めていくのか。

【町長】 責任者である県の医务局長に対し大子町として反対であることを申し上げた。近隣の常陸大宮市、常陸太田市、那珂市も今回の再編案に反対の意向であると聞いている。連名で働きかけができないか連絡を取り合っている。

【佐藤】 この常陸大宮保健所の統合問題は町民の健康や命にもかかわる大きな問題である。近隣の自治体とも力をあわせ統合を阻止できるような動きをつくるべきだと思うが。



機能の維持・存続が求められる常陸大宮保健所

前冥賀地区の太陽光発電施設は

【佐藤】 前冥賀地区における太陽光発電施設建設は、県の太陽光発電施設の適正な設置・管理に関するガイドライン、関係法令も逸脱している。問題点と今後、どのように対応していくのか。また、町独自の条例も必要ではないか。

【まちづくり課長】 事前に町

や県の手続きを得ることなく、造成工事が開始された。町では、事案発覚後に、事業者に対し工事の中断を要請し、現在、工事は中断されている。土砂の流出、水路の確保など防災対策を要請したところである。現在、町道の復元に向けて、事業者による測量、設計に係わる

協議、また、今後、県の指導要綱等についても申請に基づき、関係機関の協議が進められる予定である。条例の制定については、他市町村でも条例の制定を行っている自治体があることから、大子町においても条例の必要性を検討していく。

【佐藤】 今回の太陽光発電施設建設は、関係法令を無視

公有財産の取得について

【佐藤】 補正予算の中に奥久慈だいて観光やな土地、施設の取得費が計上されている。町の観光やな再興プロジェクトでは、経営改善策として、収益力向上と経費削減の2本柱を打ち出している。しかし、経費削減としての町の公有財産の取得がメインであり、収益力の向上のための施策が貧弱である。やな組合での討議を進め、公有財産の購入費は削除すべきである。

【町長】 理事の皆さんが今必死になって経営改善に取り組んでいるところである。公有

したまま進められ、既成事実を積み上げ、なし崩しに建設を進めている。町がそれを追認することは許されないと思うが。

【町長】 まさにやり得というようなことは許されない。厳しく対応していく。特に町道の復元、予定地の奥に民有地があるが不便にならないよう指導していく。

財産の取得を削除することになれば、組合の存続ができなくなり、来年には破綻する。

【佐藤】 2階食堂の活用、川遊び、釣り堀の整備、イベントの開催など打ち出しているが、来場者、売り上げの目標などが、抜け落ちている。町民が納得する施策を協議してからでも遅くないのではないのか。

【町長】 来年度にやなはやっていけなくなる。やな組合が存続できない状況になる。スピードがないと状況がますます悪化する。



区長等の報酬の引き上げは

【答】報酬の増額について検討する

ているのか。



菊池富也 議員

【総務課長】区長の職務は条例に基づく各種連絡・伝達など、また地域の代表・取りまとめ役など職務以外でも活動している。実際範囲は、小・中学校の各種行事への参加、地域コミュニティ活動への参加、地域の冠婚葬祭への出席など多様である。

【菊池】現在、区長の報酬は、月額1万円程度（平均）であり、活動内容から見ると大変低額である。なり手不足もあり、報酬の増額を検討すべきと思うが、町の考えを伺う。

【町長】区長の年間活動日数が100日を超えていることや、担当世帯数も十数世帯から300世帯近い地域もあるなど、また、活動範囲も広いことなどを検証し、区長の

報酬の増額について今後検討したい。

【菊池】区長のなり手不足が懸念されている現在、町はどのような改善策を考えているか伺う。

【総務課長】町からの調査依頼を減らすなどの負担軽減や区長との意見交換を行い、対策を検討したい。

だいで味らんの振興策を

【菊池】だいで味らんどの移転計画の進捗状況は。

【農林課長】6月末に建築工事の入札、工事請負契約の締結、7月着工、来年2月末竣工を予定している。

【菊池】道の駅奥久慈だいににおける野菜の販売方法等について、町・振興公

社・だいで味らんどの3者での協議が必要ではないか伺う。

【農林課長】現在、観光商

工課・だいで味らんど・振興公社と連携し、道の駅の魅力度向上に取り組み、現状・課題分析および解決策の検討を行い、だいで味らんど道の駅店の活性化を図っている。

【菊池】積極的な農業振興策はないのか伺う。

【農林課長】農業担い手対策として、農業次世代人材投資事業、大子町農業後継者応援

金制度の活用、また新規就農支援制度や営農指導体制の充実による人材の確保、育成を推進する。



地元産品が並ぶだいで味らんど

一般質問の内容は、質問者自ら要約執筆し、掲載しています。

今冬の町長選挙における主な公約は

【菊池】今年12月に予定されている町長選挙における公約などは考えているのか。

【町長】活力ある福祉のまちづくり、子育て支援策の

充実、高齢者の健康づくり、アート事業によるまちづくり、それに伴う観光客誘致、農業後継者の育成などに力を入れる。



八溝山の展望図と周辺整備は

答 6月15日設置予定



吉成好信 議員

【吉成】八溝山の展望図と周辺についてどのようなようになっているのか伺う。

【観光商工課長】展望図は、金属プレートのずれだけではなく、山の位置、名称の間違いがあった。八溝保勝会、山の専門家、それから業者および観光商工課の4者で打合せを行い、山の位置、名称を確認し、修正を行った。その修正を参考に、業者に展望図案の作成を依頼し、八溝山展望図にて作成した修正図案と風景

を照らし合わせ、間違いがないことを確認している。修正した展望図は、現在のところ6月15日金曜日に展望図に設置予定になっている。



修正され、設置された八溝山展望図

ふるさと住民票を発行してはどうか

【吉成】ふるさと応援寄附金のパンフレット、すばらしいのができた。あのパン

フレットはどの辺まで配るのか、役場だけではなく郵便局や銀行、あるいは人の

集まるところにも置いておくのか。

【財政課長】今回作成したパンフレットは、観光関係のイベントなどで配布している。町内配布も当然必要だが、できれば町外の方に見ていただいて、ご協力をいただくと考えている。

【吉成】現在まで5170万円も入ったということで、人数も1762人で、返礼品を返すだけが可能でなく、ふるさと住民票を発行してみてもどうか。全国で5カ所ぐらいやっている。ふるさと住民票を発行して、応援サポーターと

住みたい田舎づくりは

【吉成】茨城新聞にこの間、住みたい田舎づくり日本一に、常陸太田市が掲載された。常陸太田市長の名刺は、子育て上手常陸太田推進隊長になっている。一番こ

で言いたいのは、常陸太田市は、幼稚園、小中学校の給食費を半額にしている。【まちづくり課長】まちづくり課で回答したが、回答の方法も適切ではなかったかもしれない。

して町長は懇談会を開いて意見交換などやるべきと思う。福島県飯舘村や香川県三木町などで行っているのが検討されては。【町長】住民票を発行しなくても返礼品と同時に、大子町の観光やイベントのパンフレットを同封してPRはしている。またそれによってリピーターで寄附していただける方も結構多く聞いている。しかし、住民票については寄附者に事前に同意を得るので難しいと考える。



期待することをもデル化しては

【答】町の考えを実行できるか議論する



菊池靖一 議員

ンジ支援事業が地域包括ケアシステム構築のきっかけづくりになることを期待している。

【菊池】元気なまちづくりチャレンジ支援事業に関係する課が期待することは何か。

【福祉課長】団塊の世代が後期高齢者となる2025年に向けて、高齢者が住み慣れた自宅や地域において人生を全うできる社会を目指す地域包括ケアシステムの構築が求められている。医療と介護の連携、見守りや生活支援面での「地域住民との協働」という要素は必須になるので、チャレ

まれ、さらには地区民の連携強化が図られることを期待する。

【生活環境課長】各地区における防犯パトロールや立哨活動が、チャレンジ支援事業により、現在の各組織を地域の見守り分野での活動を行う組織として位置づけることもできるのではないかと考えている。

そうすることで、さらに相互の連絡も活発になり、足りない部分を互いに補え、効果も上がってくるのではないかと考える。

【総務課長】地区内に新たな人材による組織づくりにより、一地区一品運動的な取り組みとして、地区民の老若男女が一堂に会し関われる事業を起こすことにより、地区内に共助の目が生

【菊池】地域住民を巻き込んで行う事業は、リーダーを始めスタッフのなり手が必要になるため、地域がまとまっていけないとなかなか難しい。

地域が手を挙げやすくするため、期待することを具体的にモデル化して募集してはどうか。

【まちづくり課長】すぐにできる話ではないが、町の考えることが地域の皆さんで実際に実行できるような体制があるのかを含めて協議しながら、モデル地区の議論を進めなければならぬものと考えている。

やな再興プロジェクトの早期実施を

【菊池】町から投資するためには、再興プロジェクトを早期に実施し、やな組合の経営手腕を見る必要があるのでプロジェクトについて伺う。新たな組合組織づくりとして、安定的な組合運営のために理事、総代、組合員等による積極的な参画促進とあるが具体的には。

【町長】現在ある理事、総代、組合員の組織をどのよう

に活性化するかに尽きる。

会議を招集しても特定の人のしか集まらないのが現状なので、理事全員に参加してもらうために、広報PR、環境、経営支援など分野別に活動するための役割分担を決めている。

【菊池】収益力が高い事業に限られた経営資源を集中することが可能とあるが、収益力が高い事業とは。

【町長】収益力が一番高いのは道の駅の直売なので、道の駅で売るものを多様化するために「鮎の炊き込み弁当」や「鮎の南蛮漬け」など商品開発し販売強化をしていきたい。

やなの2階については、収益率が悪いのでやめて通年営業出来るような事業体に貸与する。



「鮎の炊き込み弁当」で販売強化できるか



町内の医療機関とのつながりは

【答】患者送迎への支援を継続



野内健一 議員

【野内】行政に対してご協力をいただいている大子町内の産科医が、今年の10月より出産についての医療を扱わないとのことだが、町としての考えは。

【健康増進課長】この町内の産科医は、10月からの出産については扱わないが、妊婦検診と予防接種等の外来検診は実施する。10月以降に出産を予定されている妊婦さんには、他の医院にうまく対応を取られている。町としては、地元産

科医院があることは、町民が安心して子どもを産み育てる環境として大変ありがたい、また、大変重要なことと捉えている。今までどおりの診療の継続をお願いしている。医師としては、高齢出産が増える中で、遠隔地で一人で出産時の危機対応をしていくことが困難

のことであり、さらに産科医については24時間拘束や危機対応の困難性から医師のなり手が少なく、全国的にも県内においても一番不足している現状があり、町内の産科医院への支援策が見つからない状況である。

【野内】行政と町内の医療機関とのつながりは大変重要と思うが。

【町長】年に3〜4回程度で、医師会との懇談会を持っている。各医療機関までの患者送迎を、現在町が支援を実施しているが、医師会としては、これを引き続き希望するとのことである。

【野内】町民の健康増進のためのさらなる改善策として、前立腺がん検診を特定健診項目に入れることはできないか。

【健康増進課長】特定健診は、国の法律で健診項目が定められており、前立腺がん検診を特定健診の項目として加えることはできない。しかし、前立腺がん検診は採血した血液で容易に検査できる。また、集団健診会場で60歳から74歳までの男性の方は無料で前立腺がん検診が受けられる。

【野内】女性の方全員に対しては集団健診時に、骨密度の測定はできないか。

【健康増進課長】骨密度の測定に関しては、毎年度測定をしても、その数値に大きな変化がないため、5年に1回の測定で十分と思

この送迎事業のさらなる充実を目指すことが重要になるものと思う。

町民の健康寿命延伸を可能にする施策は

【野内】20歳から70歳までの5年刻みで、女性に対して無料で検査ができるようにしている。

【野内】大子町の糖尿病重症化予防の取り組みは。

【健康増進課長】特定健診の結果から、検査値の悪い方を軽度・重度で抽出し、保健師、管理栄養士が訪問、結果説明会、糖尿病等の予防教室、特定保健指導によって、病状の説明とともに、食生活をはじめとする生活習慣の改善を働きかけている。重症化の予防としては、患者さんを通じて水郡医師会のかかりつけ医に、保健指導の内容について町から提示を始めたところである。今後は、現在の取り組みのほかに医療機関との連携をさらに強化していく。



地域医療で活躍する水郡医師会

議員視察研修

岐阜県美濃市

平成30年7月5日～6日

あいにくの雨模様、長良川の増水と土砂災害警戒態勢の中、本美濃紙とうだつの上がる町並みの視察研修が行われた。

美濃和紙の里会館、美濃竹紙工房では、美濃和紙の生産過程や流通について伺

い、その中でも、太子町産の楮で生産されたものだけが本美濃紙と認定されると聞いて、誇りに思えた。また、美濃和紙ブランドブックというパンフレットは、外国人客を意識した作りになっており当町でも参考に

したいと思えた。次に、うだつの上がる町並みの散策では、美濃和紙を中心とした歴史ある町並みと時代に合わせた新しい店舗との相乗効果により、入込み客が年々増加しているとのことだった。

美濃市の和紙職人の育成と原材料不足は、当町の楮生産と合わせて考えなければならぬ問題である。

(菊池富也)



手すきの様子



美濃市長との会談

6月定例会を傍聴して

太子町高齢者大学の生徒さんからの感想(抜粋)

○議員があらゆる面から質問したこと、町長をはじめ各部署の方々が答弁している様子を見学できてよかったです。これから山間地の町が発展していくよう町の柱となって、足跡を残してください。立派な議員を選んでよかったです。

○今回初めて太子町議会定例会一般質問の傍聴をして



高齢者大学議会見学の様子

議会を身近に感じる事ができたと思う。議員の質問を聞いて感じたことは、まだまだ町民目線に立っていない。町の組織、事業を話題にする前に町民の間で何をしているかをもっと知るべきだと思う。最近、各地区で議会報告会をやっているようだが、報告と同時に町民の意見、要望を取り入れた町政をしてくれることを願います。

★貴重なご意見・ご感想をありがとうございます。

― 大子っ子の夢、応援しています ―

わくわく

わたしの夢



私の夢、それは、看護師になることです。そして、病気の人を助けることです。

今、私は看護師になるために頑張っていることがあります。まず、看護師に必要な不可欠な理系の克服です。分からない所は、先生に聞き、分かるまで教えてもらいます。次に英語です。国際化してきている今、英語は必要なことです。英検やイ



生瀬中3年
かじ ゆりな 梶 由里菜 さん
(大字外大野)

ンタラクティブフォーラムに積極的に参加し、英語を学んでいます。そして、コミュニケーションです。看護師は、さまざまな人と接するため、コミュニケーション力は大切です。たくさんの人と話しをすることで、自分の視野を広げようとしています。

これから、もっと努力し、夢が叶うよう頑張ります。

9月定例会

開催予定

▽5日(水)	開 会
▽6日(木)	～9日(日)
	自宅審議
▽10日(月)	一般質問
▽11日(火)	一般質問
▽12日(水)	一般質問
▽13日(木)	逐条審議
▽14日(金)	逐条審議
	閉 会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

FM放送の お知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。

前号(No.193号) 記事のお詫びと訂正

前号(No.193号)記事に誤りがありましたので、お詫びし訂正いたします。

・P2平成30年度各会計
予算、水道事業会計、
前年度比較欄

(誤)

△3、349万5千円
(正) 2,000万円

・P4逐条審議

教育委員会事務局への
問中、

(誤) 民族

(正) 民俗

・P6佐藤教育長任期

(誤) 平成34年3月31日
(正) 平成33年3月31日

大子町議会 広報委員会

委員長	須藤 明
委員長	佐藤 弘
委員	菊池 富也
委員	菊池 靖一
委員	大森 勝夫
委員	中郡 一彦

あとがき

今年の夏は例年に比べ暑いと感じているのではないだろうか。6月定例会会での特徴的なことの一つは、一般質問の時間の選択制が導入されたことではないだろうか。この制度は、従来の1時間の質問と、半分の30分を選択する方法である。限られた時間での質問内容や時間配分が課題であると感想が寄せられている。

二つ目は、3月定例会に提案され、執行部自らが削除した、やなの土地・施設の公有財産の購入が再び補正予算で提案され否決されたことである。

否決を受け、町は「お知らせ」で否決された公有財産購入を含む補正予算案の説明を町民向けに行っている。何のためのお知らせか疑問が残る。執行部自らが提案内容の検証を行うべきではないだろうか。
(佐藤正弘)